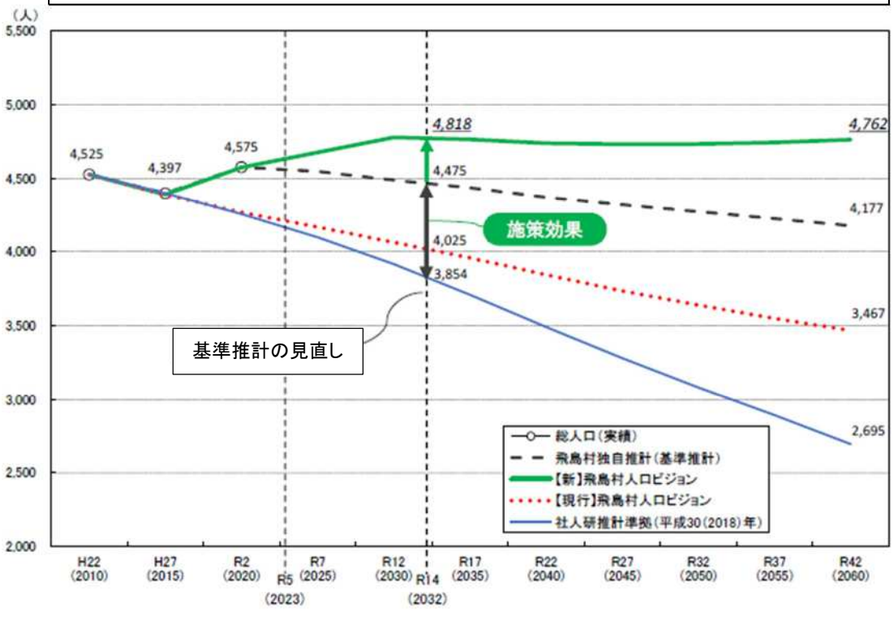
第5次飛島村総合計画基本構想（人口指標）について

資料１

●第５次飛島村総合計画の「基本構想」に位置づけた「人口指標」は、策定当時の「4,800 人程度を維持することで、村の活力を維持・向上させる」こととしています。
●令和７年 10 月１日現在の住民基本台帳人口は 4,694 人であり、人口ビジョン（R7）「4,676 人」との差は 18 人となっています。人口は令和２年から減少しているものの、策定時の人口ビジョンで想定した人口規模とおおむね同水準で推移しています。
●最新の社人研推計の公表、人口の自然減・社会増の動向、住宅地開発の具体化など、人口指標を取り巻く状況に変化が生じています。
●策定時における国勢調査人口と住民基本台帳人口の位置づけを改めて整理し、今回、「人口指標」の進捗把握に用いる人口を住民基本台帳人口として明確化します。

■策定時の想定

策定時の想定
・合計特殊出生率が 2.1 まで段階的に回復
・10 年間で 240 人以上の転入増加・転出抑制
・子育て世帯等の転入を想定
・人口ビジョンにおける R7：4,676 人



（人）

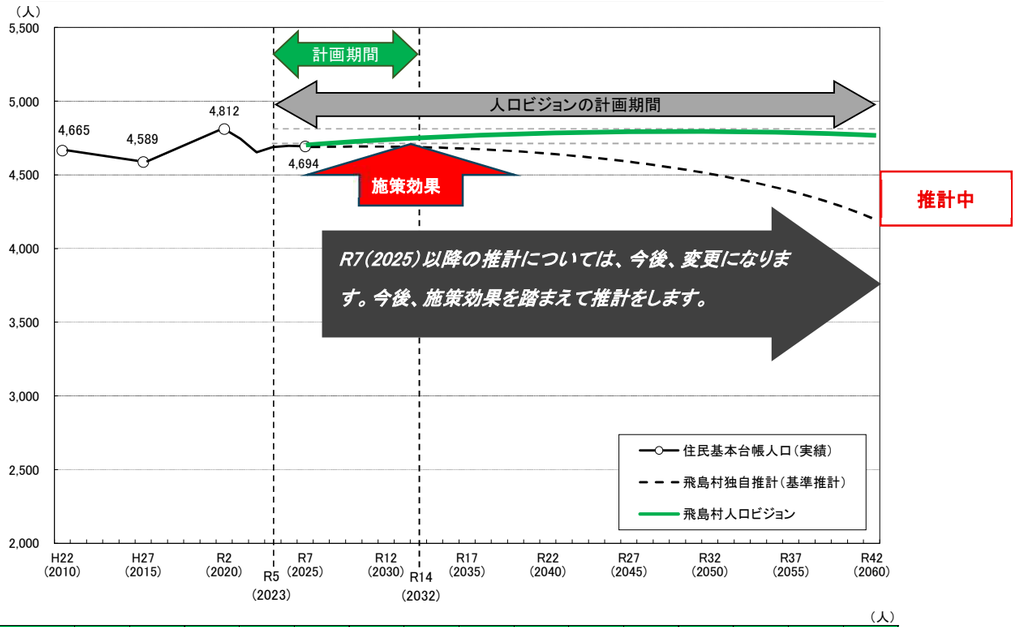
	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)
総人口（実績）	4,525	4,397	4,575								
飛島村独自推計（基準推計）	4,525	4,397	4,575	4,547	4,486	4,435	4,369	4,319	4,272	4,225	4,177
【新】飛島村人口ビジョン	4,525	4,388	4,575	4,676	4,778	4,765	4,739	4,731	4,734	4,744	4,762
【現行】飛島村人口ビジョン	4,525	4,388	4,266	4,168	4,064	3,959	3,844	3,735	3,639	3,549	3,467
社人研推計準拠（平成30（2018）年）	4,525	4,397	4,256	4,099	3,917	3,709	3,491	3,280	3,082	2,891	2,695

資料：【実績】国勢調査

※社人研の発表した「日本の地域別将来推計人口（平成 30（2018）年推計）」は令和 27（2045）年までしか推計されていないため、ここではその手法に準拠した推計を掲載しています。

■現在の状況

現在確認できる状況
・自然減が継続
・社会増が人口を一定程度下支え
・住宅地開発が進行
・R7.10.1 住民基本台帳人口：4,694 人



（人）

	H22 (2010)	H27 (2015)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R12 (2030)	R17 (2035)	R22 (2040)	R27 (2045)	R32 (2050)	R37 (2055)	R42 (2060)
住民基本台帳人口（実績）	4,665	4,589	4,812	4,745	4,654	4,688	4,699	4,694							
飛島村人口ビジョン								4,694	4,778	4,765	4,739	4,731	4,734	4,744	4,762

⇒住民基本台帳人口は策定時の人口ビジョンとおおむね同水準で推移しています。今後の推計については、人口動態（自然増減・社会増減）、住宅地開発等とあわせて検証していく必要があります。